

English Abstract of JP 4-40680 U

"Skate Mounting Ratchet Apparatus"

The skate mounting the ratchet (3, 7, 8) in wheel (1).

77 9-80600

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平4-40680

⑬ Int. Cl.⁵

A 63 C 17/00
17/14

識別記号

庁内整理番号

7008-2C
7008-2C

⑭ 公開 平成4年(1992)4月7日

審査請求 有 請求項の数 1 (全1頁)

⑮ 考案の名称 つめ車装置を取付けたローラースケート

⑯ 実 願 平2-81230

⑰ 出 願 平2(1990)7月31日

⑱ 考 案 者 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

⑲ 出 願 人 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

⑳ 実用新案登録請求の範囲

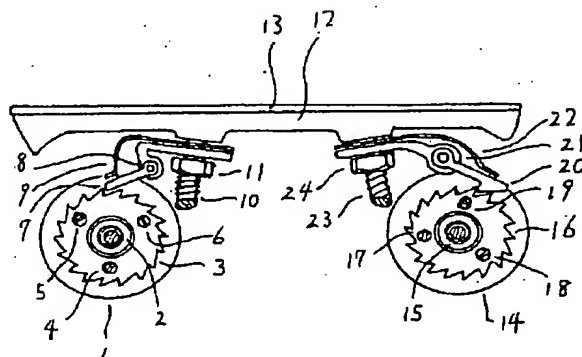
車輪に、つめ車装置を取付けた構造のローラースケート。

図面の簡単な説明

図面は、断面部を含む本考案の側面図である。

1……車輪、2……軸受け、3……つめ車、
4, 5, 6……ボルトの頭部、7……つめ、8……

……中空軸、9……バネ、10……ボルト、11……
……ナット、12……台、13……台の平らな面の
厚み、14……車輪、15……軸受け、16……
つめ車、17, 18, 19……ボルトの頭部、2
0……鉤状のつめ、21……中空軸、22……バ
ネ、23……ボルト、24……ナット。



公開実用平成 4-40680

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-40680

⑪ Int. Cl.⁸

A 63 C 17/00
17/14

識別記号

庁内整理番号

7008-2C
7008-2C

⑬ 公開 平成4年(1992)4月7日

審査請求 有 請求項の数 1 (全 頁)

⑭ 考案の名称 つめ車装置を取付けたローラースケート

⑮ 実 願 平2-81230

⑯ 出 願 平2(1990)7月31日

⑰ 考 案 者 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

⑱ 出 願 人 佐々木 稔 埼玉県浦和市白幡4-18-15

明細書

1. 考案の名称 つめ車装置を取付けた
ローラースケート。

2. 実用新案登録請求の範囲
車輪に、つめ車装置を取付けた構造
のローラースケート。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、車輪に、つめ車装置を取付けた構造のローラースケートに関するものである。従来、ローラースケートで走行する時は、側方に蹴り出さなければならぬ為に、60 糎程度の路幅では、慣性走行しか出来なかったが、この考案のローラースケートは、車輪に、つめ車装置を取付けた

構造である為に、車輪は回転方向により、回転を停止し、或いは空転をするので、60程程度の路幅でも、後方への蹴りによって加速出来る効果があり、又、この配の急な坂も、歩く姿勢で登坂出来る効果があり、交通や、安全に支障を生じない環境に於いては、ロースケートの用途を多くする。

次に、図面の図例により、説明をすると、図面で示すものは、本考案の内容を、前進方向の右側の各車輪により、説明をするものであって、左側も、右側と同様であるから、図面と説明とを簡単明瞭にする為に、図示を省略してある。

図面の中で、先づ、前方の車輪と、その関連部材について説明をすると、車輪(1)に、つめ車(3)を取付ける。この際に、取付け用の材料、種類等は任意であるが、この図例では、ボルトを用いており、ボルトの頭部(4、5、6)で示す各ボルトが、車輪(1)と

、つめ車(3)とを貫通して、相方を取付け固定する。

軸受け(2)が、破断面で示す車軸を包围し、回転自在に支持する。

つめ車装置の種類、構成等は任意であるが、この図例では、つめを外側に持っており、そして、つめ車(3)とホミ合う。つめ(7)の他方の端部は、中空軸にしてあり、それを動作自在に支持する中空軸(8)の相方に、ピン、ボルト等の軸状部材を貫通させるものであり、つめ(7)を、つめ車(3)に押し付けるバネ(9)の他方と及び、中空軸(8)の他方の、各板状部には、それぞれ孔を設けるものである。そして、それらの孔に、台(12)の一部にネジ込まれているボルト(10)を貫通させて、ナット(11)により、締め付けて固定する。

ローラースケートの靴の裏の台には、この図例以外のボルト、ナットが付設されている

から、それらの取付け用の材料を使用すること
とも出来る他、つめ車装置の台(12)への
取付け材料の種類は任意である。

台の平らな面の厚み(13)を側面図によ
り、示してある。

次に、後方の車輪と、その関連部材につ
いて説明をすると、車輪(14)に、つめ車(16)
を取付ける。以下に於いて、取付けに関
はる材料種類等は、前方の車輪とその関連部材
の説明と同様に任意とする。

ボルトの頭部(17、18、19)で示す
各ボルトが、車輪(14)と、つめ車(16)
とを貫通して、相方を取付け固定する。

軸受け(15)が、破断面で示す車軸を包
囲し、回転自在に支持する。

つめ車(16)とかみ合う、鉤状のつめ(20)
の他方の端部は中空軸にしてあり、そ
れを動作自在に支持する中空軸(21)の相
方に、ピン、ボルト等の軸状部材を貫通させ

るものであり、鉤状のつめ(20)を、つめ車(16)に押し付けるバネ(22)の他方と及び、中空軸(21)の他方の、各板状部には、それぞれ孔を設けるものである。そして、これらの孔に、台(12)の他の一部にネジ込まれているボルト(23)を貫通させて、ナット(24)により、締め付けて固定する。

同図中で、前方のつめ車装置と、後方のつめ車装置のうち、中空軸(8、21)等を貫通させる為のピン、ボルト等の軸状部材の図示は省略しており、更に、中空軸(8、21)等と及び、バネ(9、22)等の各他方の板状部に、それぞれ設けられる孔についても、図示を省略してある。

又別に、同図中に示してあるボルト(10、23)は、それぞれ一部に断面部を含む。

同図中と及び、本文のうちで、台(12)とは、各車輪を支持する支柱、枠等を取付ける台のことであり、靴等履物の図示は省略してある。

一字
抹消



4. 図面の簡単な説明

断面部を含む
図面は、本考案の側面図である。

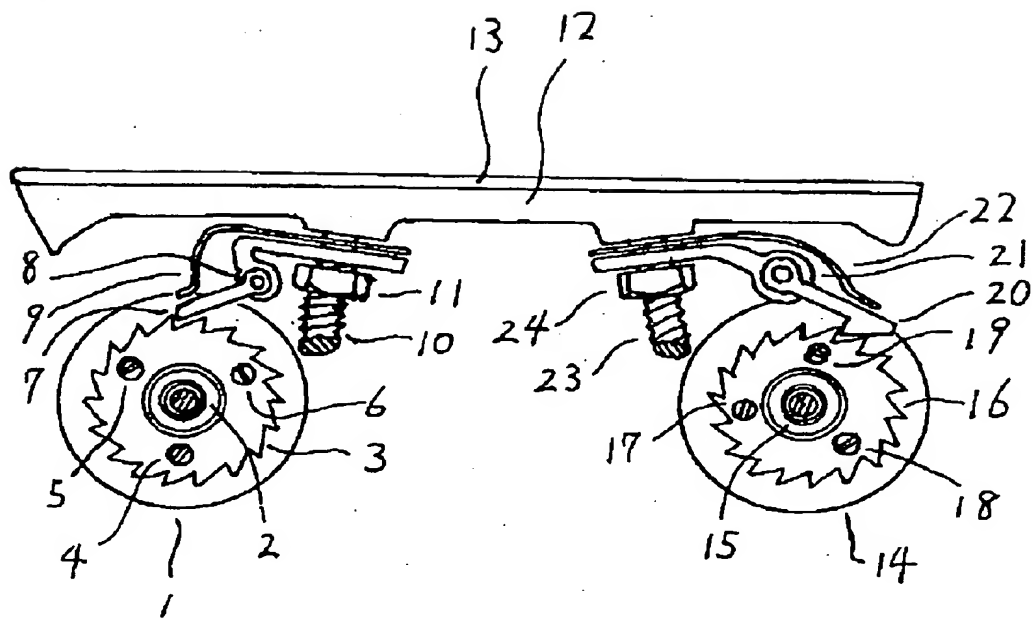
六字
挿入



1...車輪 2...軸受け、3...つめ車、4、
5、6...ボルトの頭部、7...つめ、8...中空
軸、9...バネ、10...ボルト、11...ナット、
12...台、13...台の平らな面の厚み、14
...車輪、15...軸受け、16...つめ車、17
、18、19...ボルトの頭部、20...鉤状の
つめ、21...中空軸、22...バネ、23...
ボルト、24...ナット

実用新案登録出願人 佐々木 稔

面 図



實用新案登録出願人 佐々木 稔

909
実開 4 - 40680